

報告

可搬式歯科用ユニット 寄贈引渡し式

4月4日（日）に歯科医療機器メーカーの株式会社チームフォーチュン（小川篤史社長）より無配管の可搬式歯科用ユニット2台を寄贈していただきました。同社はこのユニットを災害発生時に被災者の歯の治療に役立てていただきたいと以前より考えておられ、大野俊幸様を介して本会へ紹介されました。（大野様はスーパーボランティアとして全国各地の被災地で支援活動されており、令和2年7月豪雨災害においても熊本で活動されております。）

当日は、早朝より菊池郡市歯会館、その後八代歯会口腔保健センターにユニットが設置され、午後4時より県歯会館3Fにて寄贈引渡し式を執り行いました。小川社長より目録の贈呈と寄贈の経緯についてお話があり、これを受けて伊藤会長が「大切にに使わせていただきます。」と感謝状を贈呈しました。

可搬式歯科用ユニットの構成は歯科診査・診療用チェアー（大人2人で運べる重さ75kg）、LED式无影灯（可動式）、移動式スピットの合計150万／台相当のもので、通常のユニットと異なり水道やエア（コンプレッサー）の配管が不要（水はボトルに入れ、排水もボトルに貯めるタイプ）で電源さえあれ



伊藤会長より感謝状を

ばどこでも使用でき、バキューム、エア一等診療室のものと遜色ないパワーがあり今後の活用期待できると思われま

す。日曜日にも関わらずチームフォーチュンの小川社長はじめ社員の方々、両郡市歯会の山口会長、高木会長には設置、保管にご協力いただき誠にありがとうございました。

（常務理事 宇治 信博）

下記URLまたはQRコードを読み込んでいただけますと動画をご覧いただけます。

寄贈引渡し式

<https://youtu.be/W2PotaBsn4A>



ユニットの取扱説明

<https://youtu.be/IT3e4a-RCgY>



大野社長より贈呈

菊池郡市歯科医師会

無配管ユニット設置される

— ユニット贈呈式 —

このたび(株)チームフォーチュン様より県歯に寄贈された無配管の歯科用ユニット2台のうちの1台を、菊池郡市歯会館で預かり設置することになった。

4月4日(日)、菊池郡市歯会館に宇治県歯常務理事はじめ4人のスタッフとともにユニットが到着した。

寄贈をいただいた(株)チームフォーチュン様は、歯科医療機器と美容機器のメーカーとして2007年に誕生したメーカーだそうです。代表の小川篤史様は測量機器に勤務されていた経歴の持ち主で、何かのきっかけで歯科業界に関わる機会があった際、高騰し続ける医療機器業界に疑問を持ち、「適正価格」をコンセプトにこの会社を設立されたそうです。

そしてこのたび、2020年の人吉球磨の水害で、知合いのスーパーボランティアの方の紹介を受けて、今後の災害時に役立てて欲しい、と県歯に無配管の歯科用ユニットの寄贈の運びとなった。

ユニットのパーツは2人程度で搬入、移動が可能で、組立も1時間程度で終了した。試運転に立ち合ったが、バキューム、エアータンクともに診療室のものと同色ないパワーがあり、あらゆる



菊池郡市歯会館の正面のロビーに設置

診療に対応できるな……という感想を持った。またライト、ガーグル、切削器具部がセパレートされているので、例えば実習の際には切削器具部のみ、といった必要に応じた部分のみを使用できるのも特長だと感じた。

ちなみにユニット1セットの定価は約140万円程度だそうです。配管工事も必要ないので増設などの際に購入される先生が多いとお聞きしました。

ユニットは菊池郡市歯会館の正面のロビーに設置したが、前述のとおり移動可能なので、平時は本会でしっかり管理しながら研修会などで有効に活用させていただきたいと思う。

(高木 公康)

